



Vol 1

2000年2月発行

Rits 立命館大学

アート・リサーチセンター

〒603-8577 京都市北区

等持院北町 56-1

TEL075-466-3410

FAX075-466-3415

## 1999年 アート・リサーチセンター活動報告

4月センターオープン以来約1年、アート・リサーチセンターは、様々な取り組みを行ってきた。センターのニュースレター「ARC NEWS」の発刊を機に、竣工後の取り組みを振り返り、紹介したい。

**4月21日(水) 竣工式** 12:00~14:00 ARC多目的ルーム

センター竣工にあたって、企業や学内外関係者の参加のもとに、竣工式を行った。ARC 多目的ルームでのテープカットなど式典の後、出席者にはセンター施設を見学していただいた。



**5月~6月 記念連続講演会**

センターのオープンを記念して、学生および一般市民を対象に連続講演会を開催した。

立命館大学  
アート・リサーチセンター  
オープン記念連続講演会

第1回  
片岡仁左衛門  
を囲んで

5月12日(水)  
1:00pm開始  
(12:30開場)  
入場無料

第2回  
学生演劇から始まった  
「京都学派の成立」

第3回  
心焉に在らざれば視れども見えず

第4回  
学生演劇から始まった  
「京都演劇事情」

第1回 5月12日(水) 十五代目片岡仁左衛門丈を囲んで

13:00 ~ 15:30 以学館1号ホール

歌舞伎役者の十五代目片岡仁左衛門丈を招いて、講演会およびシンポジウムを開催。各種新聞に記事として取り上げられた。

第1部 講演

「歌舞伎と片岡仁左衛門」 藤井康雄(歌舞伎評論家)

第2部 シンポジウム

「歌舞伎とその芸の継承—国際化の中の日本文化—」

片岡仁左衛門(歌舞伎役者) 藤井康雄(歌舞伎評論家)

M. ワッセルマン(国際関係学部教授)

司会：森西真弓(池坊短期大学助教授・上方芸能編集長)

第2回 5月19日(水) 講演「映画における京都学派の成立」

14:00~16:30末川会館ホール

牧野 守(日本映画史研究者)

第3回 6月4日(金) 講演「心焉に在らざれば視れども見えず」 13:00~14:30 ARC多目的ルーム  
木村重信(兵庫県立近代美術館館長)

第4回 6月11日(金) 講演「学生演劇から始まった—京都演劇事情—」 13:00~14:30末川会館ホール  
松田正隆(劇作家・演出家、本学OB)  
土田英生(劇作家・MONO代表、本学OB)

## 5月14日（金）早稲田大演劇博物館「京舞井上流 井上八千代の舞姿」に協力

14:00～早稲田大学井深ホール

A R Cで復原した京舞井上流の貴重な映像を用いた鑑賞会を早稲田大学演劇博物館が開催し、A R Cがそれに協力した。1998年12月に以学館1号ホールでおこなった京都の至芸鑑賞会「京舞井上流 井上八千代の舞姿」とほぼ同内容のものである。（京都演劇プロジェクト）

## 6月24日（木）演劇専門図書館会議

14:00～17:00 A R C多目的ルーム

A R Cは、演劇資料を専門に収集する図書館・博物館の情報交換の場として組織されている「演劇専門図書館会議」に加入したが、第10回会議をA R Cにて開催し、出席者にセンター施設の紹介や演劇情報デジタルアーカイブ構想の提案などを行った。従来からの会員である早稲田大学演劇博物館、松竹大谷図書館、御園座演劇図書館、阪急学園池田文庫に加え、新会員として園田学園女子大学近松研究所および当センターが出席した。（京都演劇プロジェクト）

## 8月1日（日）～3日（火）片山家能楽保存財団 第2回能装束・能面展に協力

10:00～18:00 京都文化博物館



学術研究交流協定を締結している片山家能楽保存財団が主催した「第2回能装束・能面展」に、A R Cは展示協力をおこなった。同展覧会は、片山家が所蔵する能装束や京舞井上流の舞台衣装、能面、扇などの小物類を公開するもの。今回は片山家が新たに収蔵した能面「飛出」が幻の能面師大光坊幸賢作であることがわかり、注目を集めた。A R Cはこの展覧会において、京舞井上流貴重フィルムの復原過程および復原された映像を紹介するビデオを放映したほか、能面の写真のスライドショーをパ

ソコン画面で展示した。同展覧会は毎年開催され、2000年よりは同財団とA R Cとの共催とする予定である。（京都演劇プロジェクト）

## 10月20日（水）エチオピア民族舞踊公演と研究会 共催

16:30～18:30 A R C多目的ルーム

産業社会学会との共催。エチオピア・アディスアベバ大学助教授タセファイゲセッセ氏による講演のあと、クイーン・シバ芸術団による舞踊公演およびワークショップをおこなった。学生のほか一般市民も参加し、ワークショップでは一緒に体を動かして交流した。

なお、当日午前中に、エチオピア民族舞踊の5方向マルチアングル撮影をおこない、身体表現を立体的に保存した。

（エチオ・ジャパン・プロジェクト）



## 10月 秋季特別講演会を開催

第1回 10月22日（金）講演「現代芸術における漫画的なもの」

16:30～18:00 末川会館ホール

山口昌男（札幌大学学長、文化人類学者）

第2回 10月29日（金）講演「ネットワーク社会における文化・芸術の展望

—いま、なぜデジタル・アーカイブか— 16:00～18:00 A R C多目的ルーム

武邑光裕（東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授）

※武邑氏の講演では、A R C多目的ルーム備え付けの3画面スクリーンが活用された。



**11月17日（水） K R P Game++（ゲームぶらぶら）に協力**

13:00～18:30 京都リサーチパーク

京都府中小企業総合センターおよび京都産業技術振興財団の主催によるエデュテイメントベンチャー育成事業「Game++」に協力した。（ゲームアーカイブ・プロジェクト）

オープニングメッセージ 細井浩一（政策・助教授）

セッションA 「インタラクティブメディアとしてのテレビゲームとその可能性」

大岩 元（慶應義塾大学教授） 牧野圭一（京都精華大学教授）

太田祐之（編集工学研究所） 野々村文宏（インターメディアウム研究所）

セッションB 「著作権法改正とゲーム産業等への影響」

大瀬戸豪志（法・教授） 坂田 均（御池総合法律事務所弁護士）

セッションC-1 「What'sGAP? ゲームアーカイブ・プロジェクトが未来を開く」

ゲームアーカイブ・プロジェクトメンバーによるプレゼンテーションおよびプロジェクト研究室の見学

セッションC-2 講演「マルチメディアクリエイターを目指す人へ」

梶山 寛（マリーガルマネジメントプロデューサー）

**11月 土曜講座「文化芸術へのいざないーアート・リサーチの現在ー」 14:00～15:30 末川会館ホール**

人文科学研究所の立命館土曜講座に、11月はアート・リサーチセンターが協力担当した。

第1回 11月6日（土）「新しい舞踊文化の創造にむけてーエチオジャンジョイントセッションの事例からー」

遠藤保子（産社・教授）

第2回 11月13日（土）「アフリカの布の手ざわりーコンゴの草ビロードについてー」

渡辺公三（文・教授）

第3回 11月20日（土）「京都の映画の昔と今」

水口 薫（元 松竹 KYOTO 映画塾講師）

第4回 11月27日（土）「ドイツ美術のゆくえ？ー統一後のドイツとドイツ美術ー」

仲間裕子（産社・教授）

**12月18日（土） 京都の至芸鑑賞会「戦前の都をどり」**

14:00～16:30 中野記念ホール

本鑑賞会は、ARCが取り組む京舞井上流の貴重映像復原の成果を公開するもので、今回で3回目。1999年5月京都新聞の、昭和12年都をどり映像が稀音家六惣次師（当時の長唄師匠）ご遺族宅より発見されたという記事を受け、それを拝借するとともに片山家能楽保存財団所蔵のものを調査したところ、昭和8年から14年までの戦前の都をどりの映像が揃って見られるようになった。



鑑賞会は、井上流の解説に定評のある小山富紀子氏の解説に次いで、井上三千子氏の実演「門松」で幕を開け、猪熊兼勝氏の講演は「都をどりの歴史」。猪熊氏は専門分野こそ考古学ながら、曾祖父・祖父・父ともに都をどりの作詞を手掛けられた、都をどりに縁の深い方。祖父君の日記も参照しての講演は、当時の様子が紹介された貴重なものであった。映像鑑賞は、猪熊兼勝氏・井上三千子氏・小山富紀子氏による座談会形式で行われた。時代が進むにつれて軍国主義的色彩が濃

厚になる映像は、「戦前」という時代を浮き彫りにした興味深いもの。本学OB大西氏より拝借の昭和14年都をどりの音声も、内容理解の一助となった。

実演：「門松」井上三千子

講演：「都をどりの歴史」

猪熊兼勝（京都橘女子大学教授）

座談会：「都をどり（昭和8年～昭和14年）の映像を見ながら」

井上三千子、猪熊兼勝、小山富紀子





## 12月13日（月）～24日（金） 「都をどり資料展」

10:00～17:00ARC閲覧室

京都の至芸鑑賞会「戦前の都をどり」に資料展を同時開催した。展示は京都府立総合資料館蔵の番組・パンフレットや個人蔵のお茶席用皿、都をどり関連の新聞記事など。

## 12月21日（火）～22日（水） デジネットエキスポ京都 '99 出展 10:00～17:00みやこめっせ

デジネットエキスポ京都実行委員会および（財）京都高度技術研究所主催の「デジネットエキスポ京都 '99」に出展した。内容は、源氏物語サイバープロジェクトのデモンストレーションや、能面写真のスライドショー、井上流フィルム復原を紹介するビデオなど。

# ～～～研究プロジェクトの活動紹介～～～

## 「都市と芸能

### ～無形文化・時間芸術に関する総合的研究～

代表：川嶋 将生（文学部教授）

文部省学術フロンティア推進拠点に指定された、ARCの中核となるプロジェクト。基本的にこのプロジェクトを中心として以下の各プロジェクトが取り巻き、研究活動を推進している。

無形文化・時間芸術の分野を 21 世紀の先端領域とみなし、情報科学、社会科学、歴史学、美学など学際的・複合的視点を導入。芸術的なセンスに裏打された人間の営みを、記録・分析し、最新のメディアにのせて発信するまでの総合的な研究を行う。

今年度はその 2 年目として、研究資料の収集・修復、デジタルアーカイビングによる蓄積、最新情報工学の活用方法の研究などを中心に作業をすすめ、可能なところから公開を行ってきた。



## ◇無形文化財の保存とデジタルアーカイブ・プロジェクト

代表：赤間 亮（理工学部助教授）

京舞井上流の国宝クラスの映像資料の寄託を受け、その復原・保存の研究に取り組む。単なるフィルム保存・復原作業に終ることなく、映像処理やモーションキャプチャシステムを応用して、画像解析・動作解析をより高い水準で行なっている。また、マルチアングルでの記録の可能性も摸索し、その基礎的な手法の確立を目指している。

理工・人文の共同研究が特徴で、人間の動きの分析は、広く他の芸術表現に応用できよう。

## ◇京都演劇・映像デジタルアーカイブプロジェクト

代表：赤間 亮（理工学部助教授）



全国の演劇専門機関とのネットワークを形成しながら、演劇・映像文化の変遷を、これまで埋もれていた映像・画像、シナリオ類を対象に有機的に結び付け、世界に向けて京都（＝日本文化）の演劇文化を発信することを目的としている。これまで、40,000 冊のドラマシナリオのデータベース化（近くインターネットで公開予定）や、14 万枚の舞台写真のデジタル映像化に成功している。大量の情報を短期間にデジタル処理するノウハウについては、他の分野にも応用可能。

## ◇インテリジェント・デジタルアーカイブ・プロジェクト

代表：稲葉 光行（政策科学部助教授）

本プロジェクトでは、インターネットを使った文化的デジタルコンテンツの知的発信と、その活用技術に関する研究を行っている。

インターネットを通して文化的デジタルコンテンツにアクセスするユーザは、多様な興味、知識、文化的背景を持っていることが想定される。本研究では、これらのユーザの多様性に適応しながら、膨大な文化的コンテンツを効率的に利用できる仕組みを実現することを目指している。また、デジタルコンテンツと利用者の対話の中から、様々な知識情報や感性情報を獲得することで、デジタルアーカイブ自体が自律的に成長していく仕組みについての実験も行っている。

本研究では、これらの技術によって、単なる知識提供の手段としてでなく、既存の文化資産をベースにした文化創造の場としてのデジタルアーカイブの可能性を追求している。

## ◇ゲームアーカイブプロジェクト

代表：細井 浩一（政策科学部助教授）

テレビゲームは単なる工業製品ではなく、総合的なアートという側面をもつ文化的消費財である。

本プロジェクトは、まず散逸が危惧される初期のテレビゲームを中心に、ソフトウェアを収集・整理・分類した上で、基本情報のデータベースを作成することから開始した。

さらにユーザーや研究者の知識をデータベースに付加していくことでゲームの総合的なアーカイブ構築を目指すとともに、デジタルアーカイブを活用した人材育成、産業振興、地域振興の政策モデルづくりに取り組んでいる。



## ◇エチオ・ジャパン・プロジェクト

代表：遠藤 保子（産業社会学部教授）

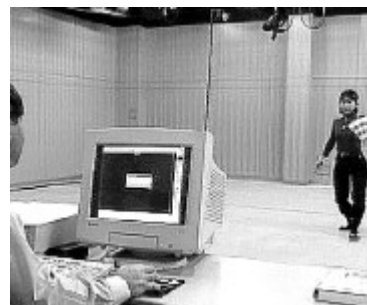
本プロジェクトの目的は、社会・文化と身体表現との関係を明らかにすること。アフリカ、とりわけエチオピアと日本の身体表現の特性を比較検討している。その方法はワークショップや、身体表現のデジタル化を含む単独フィールドワークのほかに、現地研究者との共同研究や、シンポジウム開催などにも取り組んでいる。今年度は、7月カリビアンダンスの5方向マルチアングル撮影、10月にはエチオピアより共同研究者のタセファイゲセッセ氏（アディスアベバ大学助教授）およびクイーン・シバ芸術団を招いて各地での公演・研究会を開催した。また、同時にエチオピア舞踊の5方向マルチアングル撮影もおこなった。

## ◇モーションキャプチャ・プロジェクト

代表：八村 廣三郎（理工学部教授）

当プロジェクトは、アニメーションやCGの作成に主として使われているモーションキャプチャ技術を、伝統芸能・伝統工芸における身体動作を記録するために利用し、伝統芸能・伝統工芸の記録保存と分析・比較研究の方法を確立することを目指す。たとえば無形文化財保持者のきわめて繊細な動作を計測・記録し、これを定量的・定性的に解析する。

今年度は、科学研究費地域連携推進研究費に採択されて活動を開始したばかりであり、これまでは、おもにモーションキャプチャの方式についてのシステム技術的検討とデータのコード化についての基礎的研究を行ってきた。今後、伝統芸能を中心とした動作の効果的な記録およびコード化記述の方法、身体動作の検索技術についての研究や、動作分析手法の研究を行なう予定である。





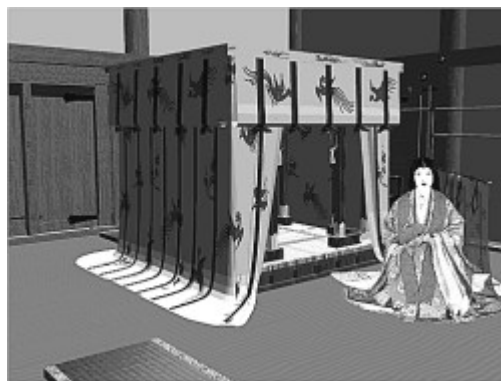
## ◇マルチメディア時代の総合芸術FDプロジェクト

代表：仲間 裕子（産業社会学部教授）

マルチメディア時代においては、美術・音楽・コンピュータなど多分野に跨る総合芸術が必要とされる。本プロジェクトは、総合芸術におけるマルチメディア活用能力向上のための試行的カリキュラム設計を目標に、内外の事例調査・分析を通してファカルティ・ディベロップメント研究を行う。学外他機関とも連携した教育形態により、研究者や美術館キュレーター、メディア・ジャーナリズム領域の専門家育成に成果が見込まれる。

## ◇源氏物語サイバープロジェクト

代表：伴 利昭（文学部教授）



本プロジェクトの目的は、ネットワーク上に「源氏物語サイバー研究所」を構築すること。この研究所には、3つの機能が用意されている。①当時の清涼殿がCGで再現された、ウォーク・スルー可能な体験館 ②遠隔地からの双方向リアルタイム通信が可能な研究施設 ③源氏物語五十四帖の写本をデジタル化し、単語の品詞・語釈・登場人物の相関関係などが検索可能なデータベース。

①については前年度中に一通り開発を終え、報告書を纏めた。現在、③に関するコンテンツ作成作業を推進中。



～プロジェクトメンバーからのメッセージ～

### プロジェクト室の声

Vol.1

スタジオを運営しています

倉科健吾（政策科学部2回生）

スタジオでは現在、連動録画可能な DVCAM デッキ5台、収録用カメラ、テレシネ、ノンリニア編集機、デジタルオーディオミキサ、マルチトラックレコーダ、CD、DAT、MD、カセットデッキ等多くのデジタルアナログ機器を有しています。日頃はこれらの機器の性能を発揮させ、収録・変換・編集・発信を行えるようシステム化・保守に取り組んでいます。更にこの2月からDVD オーサリングシステムと光学式モーションキャプチャシステムの運用を開始しました。

これまでに16 mm フィルム・初期型 VTR・音声テープ等の変換を行っていますが、これらデジタル化された素材はテープライブラリとして保管するとともにデータベースの運用等の軽さが要求される場合には MPEG1 のデータとして、鑑賞用には MPEG2 にエンコード後 DVD オーサリングを行う等、用途に合わせたメディアを選択し活用しています。

過去の資産を保存するとともに新たな試みとして舞踊のマルチアングル撮影（複数カメラで同時に様々な角度から所作を記録）を行っています。現在は撮影を進めつつどのような形で（アングル・インターフェース等）撮影し見せるのが有効か実験・検討しています。更にモーションキャプチャで収集される正確なデータとこれらをうまく組み合わせることで今までにない形のアーカイブスが構築できると期待しています。

スタジオの隣、檜張り床面をもつ多目的スペースもマルチアングル撮影はもとより研究会、講演会などさまざまな催しに利用して頂いております。スクリーンを3面もち PC・VTR・スライド・OHP などを用いたプレゼンテーションが行われていますがスタジオではこれらが簡単にかつ効果的に利用していただけるよう準備・運用をさせていただいております。

今後も ARC スタジオの運用にご理解・ご支援賜りたく紙面をお借りいたしましてお願い申し上げます。

# ARC 寄贈・寄託受け入れ資料リスト（1997年度～1999年1月）

| 書名                             | 編著者   | 発行所     | 区分    | 寄贈・寄託者（敬称略）      |
|--------------------------------|-------|---------|-------|------------------|
| 能楽資料（謡本江戸～明治期）約 2,000 冊        |       |         | 寄託    | 味方健              |
| テレビ・映画関係資料・資料・番組広報等約 100,000 点 |       |         | 寄贈・寄託 | 早稲田大演劇博物館        |
| 演劇・映画関係雑誌資料（明治～）約 30,000 点     |       |         | 寄贈・寄託 | 早稲田大演劇博物館        |
| 演劇プログラム明治期以降 約 40,000 冊        |       |         | 寄贈・寄託 | 早稲田大演劇博物館        |
| 演劇図書資料 約 5,000 冊               |       |         | 寄贈・寄託 | 早稲田大演劇博物館        |
| 演劇プログラム 約 10,000 冊             |       |         | 寄贈    | 松竹大谷図書館          |
| 演劇図書資料 約 100 冊                 |       |         | 寄贈    | 阪急学園池田文庫         |
| 演劇舞台写真 130,000 枚               |       |         | 寄贈・寄託 | 早稲田大演劇博物館        |
| 演劇資料 73 箱                      |       |         | 寄贈    | 松竹大谷図書館          |
| 映画パンフレット（1988～1998）4 箱         |       |         | 寄贈    | 松本皎              |
| 能楽教材ビデオ 2 巻セット                 | 京都能楽会 | 京都能楽会   | 寄贈    | 京都能楽会            |
| 能楽資料・レコード                      |       |         | 寄贈    | 藤田俊夫             |
| 近松研究所紀要 8-9 合併号                | 近松研究所 | 近松研究所   | 寄贈    | 近松研究所            |
| 舞踊学創立 20 周年記念増刊号 1             | 舞踊学会  | 舞踊学会    | 寄贈    | 舞踊学会             |
| 日本戯曲全集 歌舞伎篇 39 冊               |       |         | 寄贈    | 松竹大谷図書館川島稲雄寄贈重複） |
| 日本戯曲全集 現代篇 16 冊                |       |         | 寄贈    | 松竹大谷図書館川島稲雄寄贈重複） |
| 演芸画報（昭 7・8・18）19 冊             |       |         | 寄贈    | 松竹大谷図書館川島稲雄寄贈重複） |
| 観劇五十年                          | 伊臣眞   | 新陽社     | 寄贈    | 松竹大谷図書館川島稲雄寄贈重複） |
| 歌舞伎劇鑑賞                         | 三宅三郎  | 三田文学出版部 | 寄贈    | 松竹大谷図書館川島稲雄寄贈重複） |
| 日本古典演劇・近世文献目録 1997 年版          | 近松研究所 | 和泉書院    | 寄贈    | 近松研究所            |
| 歌舞伎の「仮名手本忠臣蔵」七段目全 6 枚          |       |         | 寄贈    | 大前皓生             |
| 歌舞伎の「歌舞伎名盤集」全 12 枚             |       |         | 寄贈    | 大前皓生             |
| 宝塚国民座 脚本解説第 11 号（ハムレット）        |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 市村座公演第二脚本集              |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 東京帝国劇場上演脚本集             |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 第四脚本集                   |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 第七脚本集                   |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 第十四脚本集                  |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 第十八脚本集                  |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇 第十九脚本集                  |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇脚本集 第八十三号                |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇脚本集 第九十四号                |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇脚本集 第百二号                 |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚少女歌劇脚本集 第百四十五                |       | 宝塚歌劇団   | 寄贈    | 金内峯              |
| 歌劇 第八十三号                       |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 歌劇 第九十二号                       |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 歌劇 第百三号                        |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚歌劇五十年史                       |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚歌劇五十年史 別冊                    |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 宝塚関西 O B 会々報 '95               |       |         | 寄贈    | 金内峯              |
| 演劇 47 号                        | 御園座   | 御園座     | 寄贈    | 御園座 演劇図書館        |
| 第 50 回京都薪能パンフレット               | 京都能楽会 | 京都能楽会   | 寄贈    | 京都能楽会            |

|                       |               |               |    |               |
|-----------------------|---------------|---------------|----|---------------|
| 芸能の科学 27              | 東京国立文化財研究所芸能部 | 東京国立文化財研究所芸能部 | 寄贈 | 東京国立文化財研究所芸能部 |
| 演劇 48号                | 御園座           | 御園座           | 寄贈 | 御園座 演劇図書館     |
| 近松の三百年                | 近松研究所         | 和泉書院          | 寄贈 | 近松研究所         |
| 伊藤大輔シナリオ集 I II III IV | 伊藤大輔          | 淡交社           | 寄贈 | 伊藤朝子          |
| 近松研究所紀要 10            | 近松研究所         | 近松研究所         | 寄贈 | 近松研究所         |
| 演劇と教育 NO.517          | 日本演劇教育連盟      | 晩成書房          | 寄贈 | 全国児童・青少年演劇協議会 |
| 文献の写真ネガフィルム           |               |               | 寄贈 | 土田衛           |
| 演劇 49号                | 御園座           | 御園座           | 寄贈 | 御園座 演劇図書館     |
| 関西文学 Volume017        |               | 滯標            | 寄贈 | 福井栄一          |
| 歌舞伎その他レコード 5箱         |               |               | 寄贈 | 早稲田大演劇博物館     |
| 演劇資料 3箱               |               |               | 寄贈 | 松竹大谷図書館       |
| 演劇資料 39箱              |               |               | 寄贈 | 早稲田大演劇博物館     |
| 御園座 百年史               | 御園座           | 御園座           | 寄贈 | 御園座 演劇図書館     |

## ご来聴歓迎 第1回 プロジェクト研究発表会

日 時： 3月23日（木） 13：00開始  
場 所： アート・リサーチセンター多目的ルーム

- ①海外における芸術（振興）センターの現状と役割  
板井 由紀（社会学研究科博士課程前期課程  
／マルチメディア時代における総合芸術のファカルティ・ディベロップメント研究プロジェクト）
- ②「エチオ・ジャパン」とアート・マネージメント～舞台監督の立場からプロジェクトを振り返って～  
池田 章子（社会学研究科博士課程前期課程／エチオ・ジャパン・プロジェクト）
- ③ゲームアーカイブプロジェクト  
稲葉 光行（政策科学部助教授）
- ④インテリジェント・デジタルアーカイブ・プロジェクト  
稲葉 光行（政策科学部助教授）
- ⑤古浄瑠璃の本文構造について—索引の作成から—  
金子 貴昭（文学研究科博士課程前期課程）
- ⑥源氏物語サイバープロジェクト  
松浦あゆみ（京都女子大学非常勤講師）
- ⑦都をどりと映像化  
岡田万里子（衣笠総合研究機構ポスドクフェロー／無形文化財デジタルアーカイブプロジェクト）
- ⑧モーションキャプチャデータからの舞踊譜Labanotationの生成  
八村広三郎（理工学部教授／モーションキャプチャ・プロジェクト）  
松本敏良（理工学研究科博士課程前期課程）

### ～～寄付者芳名録～～

当センターの活動に対し、下記の企業より寄付金を頂戴しました。

厚く御礼申し上げます。

株式会社三晃空調

ソニーマーケティング株式会社

協栄ビル管理株式会社

（1998年3月～1999年1月／敬称略）

☆立命館大学アート・リサーチセンターに関する最新情報は、ホームページをご覧ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/kic/arts/>